

山形県男女共同参画センター

CHERIA チェリア

vol. 53
2018.Winter

CONTENTS

2-3 **特集** チェリアフェスティバル山形2018

4 平成30年度
山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

5 チェリア塾基本コースin庄内

6 チェリア相談室より

7 チェリアの仲間になりませんか？
チェリア 登録団体紹介！

8 男性セミナー
男の土曜塾 ちがいがわかる男のコーヒー座談会VOL.4

8 パープルリボンプロジェクト2018 in YAMAGATA

洗心庵庭園(山形市)

あなたと私 違いを力に変えていく

10月8日[月・祝]18:50~16:00 於:文翔館

毎年この時季の恒例となっているチェリアフェスティバル。18回目を迎えた今年は、文翔館で開催しました。秋晴れとなった当日は、オープニングアトラクションや記念講演会、男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体・グループのワークショップや展示発表、にぎわいコーナーなどが開催されました。



オープニング



秋晴れの遊学館講堂ホール前庭でのタイトルコール。いよいよチェリアフェスティバル開幕です!

アトラクション



県立村山産業高等学校によるオープニングアトラクション。「徳内ばやし」が響き渡りました。



県立山形西高等学校書道部による、迫力ある「書道パフォーマンス」。

ワークショップ



セミナーや寸劇など、11団体による多彩なワークショップが開催されました。

にぎわいコーナー



バルーンアートやバステル画・折り紙作成体験、ちがいがわかる男のコーヒーコーナーなど、多くの方が楽しめました。

展示発表



日頃の活動内容や、男女共同参画に関する情報がもりたくさん!

県民交流コーナー



物販コーナーや、文翔館中庭でのお茶席は大好評でした。

知事表彰

平成30年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰式及び活動内容発表(詳細は4ページをご覧ください)

講演会 「居場所」のない男、「時間」がない女

詩人・社会学者 水無田 気流氏



清員の会場の中、現代社会の抱える課題やその解決策を、データ分析を通して、社会学者としての視点から講演していただきました。

生活満足度みる日本人の問題

一般的に生活満足度はGDP上昇と連動して上がっていくのですが、ある程度までGDPが上がると、それ以上はGDPが上がっても、生活満足度は上がらないどころかむしろ「反比例して下がる傾向が見られます。これを「幸福のパラドクス」といいます。そこで、GDP上昇以外に生活満足度を押し上げる要因について検討すると、一つには自由になる時間、もう一つが良好な人間関係だとわかったのです。日本はなんと、女性は先進国で一番のハードワーカーで、時間が少ないことがさまざまな統計結果から明らかになりました。一方、男性は先進国で一番お友達が多い。就労後の生活を送る職場以外の人間関係が乏しく、退職後の人間関係が貧困になってしまっています。日本は非常にジェンダーセグリゲーション(性別分離)の高い国です。たとえば、高卒男性管理職割合の方が大卒女性管理職割合より高いのは先進国では日本くらいです。学歴はそれ相応の手間、コストのかかる資格ですが、それよりも生み出される性差のほうが、社会的地位に与える影響が大きい。要するに、日本は男性女性という性差が、個人の個性や適性よりも、ジェンダーストーンによる影響が非常に大きい国だといえます。ジェンダーセグリゲーションが高すぎて、男性は先進国で一番人間関係が貧困、女性は時間が貧困で、本来人間を幸福にしてくれるはずの「自由な時間」「人間関係」が男性女性それぞれに先進国で最低というのは、大きな問題だと考えます。

日本人男性の「関係貧困」

まずは日本人男性の問題ですが、自殺、孤独死、引きこもり、全部7割が男性です。それから男性ジェンダー、男らしさの問題として、周りに弱音があまり吐けない「問題が挙げられます。実は、女性のほうが不安傾向やストレス値は高いです。しかし、女性はストレス軽減の人的資源が、男性よりも豊富です。つまり、いろんな人たちに話して、ストレスを解消してしまうのですが、男性はそうはいかない。配偶者がいる場合は、かろうじて配偶者に愚痴を言えるのですけれども、同性同士ではなかなか弱みが見せられないという傾向が各種統計からも明らかになっています。離婚、退職など、なんらかの原因で社会的立場を失うと、社会復帰へのハードルが高くなってしまうのも男性なのです。また、貧困に陥った場合、男性は助けを求めないことが多い。日本で所得保障してくれる公的扶助は、実質的には生活保護ですが、現役世代の男性が受給するのは難しいです。また、住居を確保してくれる男性向けの施設も乏しいです。たとえば、女性向けにはDV夫から逃げてきた女性をかくまうシェルターやシングルマザー向けの母子寮などがありますが、男性をかくまってくれる施設はほとんどありません。日本では、男性が仕事を失うと全てを失う割合が高いのです。そのためたとえば日本のホームレスに占める男性割合が92~95%と、突出して高い。これは異常な数値です。男性が仕事を失うと全てを失う割合が高いということです。

日本人女性の「時間貧困」

日本の夫婦は生涯を共にしていても生活、時間、空間を共有していないんです。生涯を共にしているうちに夫がどんどん異物になってくる。「コーシヤル」のように夫の体臭が気になる。消したい、という需要が増すということになる。

メディアというのはおもしろいもので、政府、官公庁などがやっている優等生的な統計よりも、庶民のニーズ、つまり本音がよく出てきます。流行語「新語」「粗大ゴミ」「亭主元気で留守がいい」「家庭内離婚」「濡れ落ち葉」「わしも族」「夫源病」「主人宅ストレス症候群」……これは夫が家にいるだけで妻が鬱病になったり十二指腸潰瘍になったり健康状態が悪く悪化する症候群です……のようなものが頻繁に出てきます。

なぜそんなに夫が邪魔なのかということ、夫が家にいる時間は妻の労働時間だからです。ケアワークタイムなのです。そこで、日本人女性の時間使用の問題ですが、日本の有業者男性の平日仕事時間は6時間49分ですが、女性は4時間47分です。家事育児介護を含めた家事関連時間は、週全体で1日あたり男性平均44分ですが、女性は3時間28分。女性は男性の5倍の時間を家事に費やしており、仕事有償労働プラス家事無償労働を合わせた総労働時間で見ると、男性は1日平均7時間33分ですが、女性は8時間15分、1日あたり女性が42分長いのです。これがフルタイムで働いている女性だと10時間を優に超えます。

家事育児に関して、国際比較した論文などを読みますと、日本の女性、特に既婚女性に要求される家事育児の時間数は先進国でも一番多いです。管理すべき台所用品数も日本の台所が一番多い。和食、洋食、中華、ときにはイスラックと全部作る。日本は食卓を囲むことが家事や家庭生活の中心で、それは悪いこととは言いませんが、地域社会で隣人同士のつきあひよりも、家族内、何事も囲い込みとする傾向が強い点も家事観の違いから指摘できます。このため、たとえば高齢になるときに、何か困ったことが起きたとき、近所の隣人を頼る割合が先進国で一番低いのです。欧米諸国の方が個人主義なようについて、実は隣人や友人と助け合う人の割合は日本人よりも高い。また、育児言説を点検して国際比較した論文でも、日本の母親に要請される育児の要求水準は先進国で一番高く、手間数も多いのが特徴で

男性の場合は、現在のように完全に会社村の住人になる働き方ではないとメインの労働者にならないというやり方(「ジョブとメンバーシップ」の体型)では長時間労働になります。女性の場合は、家事や家庭地域責任の「一体型無償労働」が前提では、専業主婦でないと優等生のお母さんにはなりません。結局男性は企業の、女性は家庭や地域社会の時間を差し出せるかどうかが重視されるので、各仕事をモジュール化、部品化するところが困難になり、ワークライフアンバランストンがなかなかないかと思えます。

日本型の性別分業、ジェンダーセグリゲーションを超えて幸せになるためには、女性を企業のメンバーにすると同時に、男性を家庭や地域社会のメンバーにすることが必要です。すなわち男性片働きで女性が専業主婦ないしはそれに準ずる形で家事育児を行うというあり方を見直すことです。そのためには、同労働、同賃金、時短、有休休暇取得率などについて、各部分のバッチリ当てるようなものではなく、全方位的な雇用環境の改善が必要になってきます。今働き方改革をやっていますが、それをやるなら同時に暮らし方改革も推進すべきではないでしょうか。



チェリア塾基本コースin庄内を開催しました

男女共同参画を学びたいまたはその推進に向けて行動したい女性を対象に、5月26日から5回連続講座として三川町公民館を主会場に開催しました。22名の参加があり、19名の方が修了証を受け取りました。

また、チェリア塾の修了生にも講座の一部として「前回講座のふりかえり」やパネルディスカッションを担当していただきました。修了生と受講生との交流も行われ、地域のネットワーク形成に向けて大きく前進したようです。

第1回〈5月26日〉「わたしたちは今どこにいるの?～女性活躍の風を受けて～」

東北公益文科大学教授・大学院公益学研究科長 伊藤 真知子氏

まなび: 人間を男と女に分割する境界線(ジェンダー)を知り、社会が作った枠を自分で外していく・ゆるやかにしていいのではないかと学びました。

〈アンケートより〉

- ▶ もやもやしていたジェンダーについて、真知子先生からのレクチャーを受けたりみんなと考えたりして、新たな気づきを得ることができた。
- ▶ あたり前・自然だと思っていたことが、男女の分業意識という不平等のうえに成り立っていることに気づいた。疑問を感じないで生きてきた時間が長いので、これからは気づいていけるよう努めたい。



第2回〈6月23日〉「キャリアデザイン～自分にできること・したいこと・やらなければならないこと～」

有限会社ティップス取締役社長 尾形 恵子氏

まなび: 雇われ得る力には3段階あり、どこにいるかではなく、どの段階の雇われ得る力を身に付けておくかがポイントだと学びました。3・5・10年後までのプランを考え、自分のことを考えるきっかけになりました。

〈アンケートより〉

- ▶ 自分と向きあうのは少し苦しいことでもあったが、自分を知る、自分の目指すコトを認識することで、将来に向けた意識が変わっていくのだと感じた。
- ▶ 今後のキャリアプラン、ライフプランを考える貴重な機会になった。実際に書いてみることで、思いがけない答えが見つかったり、考えが明確になったりすることに驚いた。



第3回〈7月28日〉「ロジカルシンキング～課題の考え方、取り組み方を身につけよう～」

会津大学短期大学部産業情報学科准教授 青木 孝弘氏

まなび: 目標の背景には必ず課題がある。論理的に結論を導くのは難しいことではあるが、問題分析、目的分析をしていき、アイデアを出し合いながら整理していく考え方や解決策を学びました。

〈アンケートより〉

- ▶ 原因・分析を考え、否定語を肯定語に変えることで、目的・手段を考えながら問題を解決することができる、ということが分かったので実践していきたい。
- ▶ 常識を疑うことの大切さを改めて感じ、事実をしっかり目を向けて、今後の生活に活かしたいと思った。



第4回〈9月1・2日〉「対等な人間関係を育もう～心通うコミュニケーションで変わる関係～」

オフィス「想」ネットワーク代表 中野 満知子氏

まなび: アサーティブなコミュニケーションについて学びました。自分が実際に体験している家庭や職場等の身近な事案を題材に、ペアやグループで練習を重ねアサーティブな伝え方にチャレンジしました。

〈アンケートより〉

- ▶ 何事にも通じるマインドの学びは、今日から・明日から変われるかなと自分にも期待できる内容だった。この2日間で背中を押してもらえた気がする。中野先生との出会いに感謝。
- ▶ 今まで言えなかったことの伝え方、具体的な方法をいろいろとロールプレイや対話で、わかりやすく楽しく学べた。



第5回〈9月29日〉「ふりかえりと次のステップへの踏み出し～そして私はどうなるのか～」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬 隆人氏

まなび: 人の話を聞いただけでは学びではない、学んだことを実践してこそ「学んだ」と言えるとお話がありました。「チェリア塾を修了したら何をしたいか」を話し合った結果、共通点は「仲間づくり・ネットワークづくり」でした。

〈アンケートより〉

- ▶ 「ふりかえり」とは、いつも前向きで未来をどうするかを考えるのとみなみである、という言葉がとても印象深く残った。
- ▶ 仲間づくりが苦手だと思っていた私が、仲間づくりが必要だ、と意識が変わっていたことにびっくり。意識が変わるきっかけをいただき感謝している。



チェリア塾修了生によるパネルディスカッション

チェリア塾に参加したきっかけや動機、参加しての感想、修了後の自身の変容、地域活動をする理由についてお話があり、受講生へ向けてのメッセージをいただきました。

テーマ: 「わたしが地域活動をする理由(わけ)」

パネリスト: 佐藤 亜希子氏 (チェリア塾2期生・最上地域)
石澤 多貴子氏 (チェリア塾3期生・村山地域)
大久保 紀子氏 (チェリア塾4期生・庄内地域)

コーディネーター: 有川 富二子氏 (チェリア塾1期生)

〈アンケートより〉

- ▶ ほかの多くのチェリア塾修了生の現在の歩みを知りたい。今回のパネリストの方々のように、発表を聞く機会が欲しいと思いました。
- ▶ 実際にどのような取り組みをされているのが、具体的にわかりやすかった。
- ▶ チェリア塾の先輩のお話がとても刺激になりました。



功労者表彰

多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人または団体に贈られる賞です。

■ 阿部 典子氏 (山形市)

山形市議会議員在職中は、市内小中学校の児童・生徒の男女混合名簿の普及にご尽力いただいたほか、男性の育児参画や女性の政治参画の必要性など多くの提言を行い、男女共同参画社会づくりに貢献されました。また、平成19年からは特定非営利活動法人日本BPW連合会山形クラブ副会長として、「イコール・ベイ・デイ」に合わせ、県内の経済団体や行政機関を訪問し現状を訴えるなど、働く女性の社会的地位向上にご尽力されました。

■ 天童市男女共同参画社会推進委員会 (天童市)

平成13年10月、天童市男女共同参画社会推進計画に基づき、天童市内の各種団体から推薦を受けた市民等で構成する委員会が設立されました。設立以降は、機関紙「ぼっぼ」の発行、セミナーやワークショップを行うタウンミーティングの開催、市民向けの講演会や地元高校生による演劇活動など、市民参加型の活動を実践されてきたことで、男女共同参画社会づくりの機運醸成に大きく貢献されました。また、標語の募集では、市内の中学校・高等学校を巡回して参加を呼びかけ、広く地域に根ざした取組みで男女共同参画について考えを深めるきっかけづくりにも大きく寄与されました。



平成30年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰式

チャレンジ賞

仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人または団体に贈られる賞です。

■ 菅野 美奈子氏 (山形市)

出産を機に民間企業退職後は10年間子育てに専念し、平成13年度山形県地域緊急雇用対策SOHO推進事業をきっかけに、仕事と子育てや介護などの両立が難しい環境にあっても自分らしいワークスタイルを求める女性集団「キャリ・マミーズ」を始動。平成16年には山形県知事認可法人「AISOH企業組合」を設立させました。働く意欲がある女性達に対して在宅ワークと短時間勤務を合わせた労働環境の確立に大きく貢献されたほか、山形県男女共同参画センターの活動には主導的に関わっておられます。

■ 戸沢村女性消防隊 (戸沢村)

平成27年に女性消防隊を結成以来、訓練を重ね、平成29年の全国女性消防操法大会では47団体出場中、準優勝の成績を収められました。その成績はもとより、訓練と研修、全国大会への出場を通して、地域の防災を担う大切な一組織へと成長するとともに、家族や消防団をはじめ、広く地域住民の間で、男性による家事参画や応援の輪が広がり、地域における男女共同参画に向けた意識改革に大きく貢献されました。

■ 吉村美栄子知事あいさつ

受賞された皆様は、山形県の男女共同参画社会づくりに大きな功績を残し牽引してこられただけでなく、他のモデルとなる取組みにチャレンジしておられます。こうした活動は、県男女共同参画計画に掲げる「一人ひとりが活き活きと能力を発揮しながら、思いやり、支え合う山形県」の実現に繋がるものであります。本県では、「雇用等における男女の均等な機会と待遇の確保」、「ワークライフバランスの推進」、「多様な分野での女性の活躍の推進」、「地域における身近な男女共同参画の促進」、「政策方針決定過程への女性の参画拡大」を重点分野と位置付け男女共同参画の推進を図っているところですが、今後も市町村、各種団体、県民の皆様方と力を合わせて一層力強く計画を進めたいと考えております。受賞された皆様には、男女共同参画社会づくりのリーダーとして益々活躍いただきたくお願い申し上げます。

■ 受賞者代表のこぼ(阿部 典子氏)

男女共同参画社会づくりを行う活動者や団体の拠点として、県男女共同参画センター「チェリア」ができ、また東北初の女性トップリーダー 吉村知事が誕生したことは、大きな進展でありとても喜ばしいことです。歳の差はあれども、すべての人が誕生からそれぞれの物語を作り人生という歴史を刻んでいます。女性の思いの根底には、平和と平等が強くあるのではないのでしょうか。私は高校の頃、「歴史は多くの人の生活が鎖や輪になり繋がってきたことを忘れてはいけない」と教わり、それ以来、自分を取り巻く環境の中で、子どもを支える保護者の方々の働き方や生活の中から声を汲み上げ、より良い社会をつくるにはどうすべきか、特に、「基本的人権」「国民主権」「平和主義」それを念頭に置いて活動してまいりました。私が活動を始めた頃に比べたら目覚ましい進歩がみられますが、まだまだ困難や課題はありますので、一つひとつ知恵を出し合い、みんなの幸せに繋がる小さな一歩を大事に積み重ねてまいりたいと思います。



チェリアの仲間になりませんか?

NPOはなはな倶楽部

『NPO はなはな倶楽部・居場所づくりはなカフェ』は今年4月からオープンしました。シニア世代がこれからもいきいきと元気で暮らしていくためにも、趣味のアレンジフラワーを通して、居場所づくりはなカフェでゆっくりとした時間を過ごしてみませんか?と始めた活動です。私自身団塊の世代なので何かを始める事は至難の業ですが、私が習い事をしている先生方はご高齢ですが、みなさんとてもいきいきして元気なのはビックリです。何か打ち込める事が生きがいづくりになっていると思います。

私もその姿に刺激を受けてチャレンジしてみたいと思いました。私は5年前から山形県男女共同参画センター主催のチェリア塾で学んでおり、何か社会に役立つ事があるか?私にも出来る事があるか?と模索中に、チェリア塾の仲間背中を押されて、一歩踏み出す勇気が湧いて実践しようと思いました。長く続けてきた趣味を活かしてみんなに広めて多くの方と繋がっていきなりたいと思います。趣味やサークルの仲間は、地域を超え世代を超えて友達の輪が広がります。このような活動の輪が笑顔の絶えない楽しい癒しの時間になればと思います。

『NPO はなはな倶楽部・居場所づくりはなカフェ』でこれからも生きがいのある暮らし方、自分らしい生き方を提案していきたいと思っています。

アレンジフラワー〈月1回コース〉

- ・山形県男女共同参画センター「チェリア」(遊学館2階)
- ・山形市霞城公民館
- ・上山市働く婦人の家
- ・よしだ葉月宅 アトリエ



NPOはなはな倶楽部

- 代表 よしだ 葉月
- 事務局 菅野 美奈子
- お問い合わせ先
zao-sibasakura@ezweb.ne.jp
TEL 090-9636-4365

営業部女子課山形支局

営業部女子課とは、2009年に立ち上がった、営業女子を応援するためのコミュニティです。

女性営業職の活躍を拓くことで、結果男女ともに輝きながら働ける社会創造を目指しています。

山形支局は、2017年に全国で28番目に立ち上がりました。山形支局に参加してくれる女性は、一緒にいるだけで元気になるようなエネルギーで明るく前向きな方ばかりです。

多種多様な業種の方が集まっていますし、営業職はもちろんのこと、個人事業主、営業スキルを身につけたい方もいらっしゃいます。

色んな立場や考え方の違いに触れられ、共に学ぶので、自分の世界が広がりますよ。家や職場以外に、和気あいあいとみんなで学び合い、高め合い、協力し合える場所があるって良いですね。営業に直接関係するスキルアップのための勉強会はもちろんのこと、女性としていつまでも輝くための様々な種類の勉強会をご用意しています。

仕事人としてだけでなく、女性として、妻であっても、母であっても、いつまでも輝いていきたいですね。

共に成長して、仕事で結果を出しながらプライベートも充実させる、かじこわい営業女子に、みんなでどんどんなりましょう。あなたのご参加お待ちしております。



営業部女子課山形支局

- 特派員 山川 唯美
- ホームページ
http://eigyobu-joshika.jp/
- お問い合わせ先
yamagata@eigyobu-joshika.jp
- 山形支局facebookページ
https://www.facebook.com/eigyoyamagata/

チェリア相談室より

平成30年度相談機関実務者研修会

「こころの相談・支援者のメンタルヘルス」を開催しました

平成30年9月21日(金)、大正大学教授でチェリア「こころの相談」カウンセラーの森岡由起子氏を講師にお迎えした相談機関実務者研修会を開催し、63名の参加者が学びを深めました。

はじめに、対人援助職は自分自身が素材となる職務であることへの理解と自覚、援助職になった動機を意識する大切さについてお話しいただきました。相談者との適切な距離感や客観的な視点を保ちながらも、まずは自身の得意不得意をよく理解し支援者側のベースを整えておかなければ相手と向き合うこともできないということ、改めて感じる事ができました。援助には「傾聴」「受容」「共感」「支援」の段階があり、相談者が抱える問題の明確化が第一歩、次に目標の設定、それを実行していくための支援、その後の自立に向けた支援へと進めていくことなど、過程と多角的アセスメントの重要性を学ぶことができました。

昨年の参加者から相談員のメンタルヘルスに関する研修を望む声が多く寄せられていましたが、相談員や支援者が「共感性疲労」や「燃え尽き症候群」に陥らないために、多職種との連携やチームでの支援など、支援組織内での対応策についてもお話しいただきました。加えて、支援者自身も自分の限度をわきまえ、活動するベースの調整や健康管理、上手な気分転換の手段を身につけることは継続的な支援を行う上でとても大切だとアドバイスをいただきました。

自分自身を尊重することができなければ相手のことを理解し受け入れ支援することはできません。何事も基本にアサーションの考え方があってこそなのだと思わせられた研修会でした。



悩みに寄り添う講座

「離婚と調停 ～手続き・養育費・面会交流など～」を開催しました。

日常生活の中で抱える様々な不安や悩みの解消に向けてお手伝いをする「チェリア相談室」。そこに寄せられた相談の中から、多かったテーマ、離婚とハラスメントに焦点をあてて講座を開催しました。今年度は山形市の男女共同参画センター「ファール」との共催企画。悩みに対して何らかの解決へのヒントを見出したい一般の方、そして各市町村や関係機関の相談業務の担当者などが参加しました。

11月16日(金)に行なわれた第一回目は、「離婚と調停 ～手続き・養育費・面会交流など～」と題して、家庭問題情報センター主任研究員の神原広城氏を講師に迎え、離婚の手続きや養育費の事など、詳しく学ぶことができました。特に、両親が離婚もしくは別居中であっても子どもにとっては親であり、子どもの人格形成や精神的発達に必要なとの考えから未成年の子との面会交流が重視され、近年になって民法が改正されたことは印象的でした。長年、家庭裁判所の調査官を勤められ、定年後は仙台家裁の家事調停委員でもある神原講師の事例を交えたお話しに、参加者も真剣に聞き入っていました。

11月30日(金)には弁護士の山口紗世子氏による講座「知ろう!防ごう!ハラスメント～パワハラ・モラハラ・セクハラなど～。職場や家庭でも問題になりやすいテーマだけに、よりたくさんの方に知ってほしいと思う講座となりました。

講座① 離婚と調停

～手続き・養育費・面会交流など～

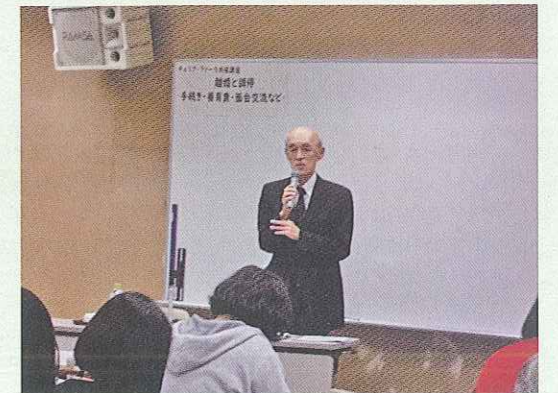
- ▶日時 11月16日(金) 10:00～12:00
- ▶講師 家庭問題情報センター 主任研究員 神原 広城氏

講座②

知ろう!防ごう!ハラスメント

～パワハラ・モラハラ・セクハラなど～

- ▶日時 11月30日(金) 10:00～12:00
- ▶講師 弁護士 山口 紗世子氏



男性セミナー

ちがいがわかる男のコーヒー座談会

vol.4 を開催しました

【第I部】おいしいコーヒーの淹れ方

【第II部】家族でおいしいコーヒータイム

- ▶ 庄内会場 平成30年10月27日(土) 13:30~16:00
酒田市男女共同参画推進センター「ウイズ」
- ▶ 村山会場 平成30年11月17日(土) 13:30~16:00
天童市立天童中部公民館
- ▶ 講師 第I部 (株)東北萬国社 コーヒーインストラクター
赤塚 宏之氏
- 第II部 チェリア塾修了生



おいしいコーヒーの淹れ方をプロに学べると、毎回大好評の「ちがいがわかる男のコーヒー座談会」。I部では、ハンドドリップコーヒーの基本的な淹れ方を教えてもらい、グループ毎に実践。次に、生産国の異なるコーヒー豆を飲み比べして、特徴の違いを学びました。「ハンドドリップで淹れると、豆の銘柄や挽き方、お湯の温度、抽出温度等によって味わいが変わるので、自分好みの一杯に調整できるんです。ぜひコーヒーを楽しんでほしい。」とお話してくださった講師の赤塚さん。コーヒーの香りに満たされたひとときとなりました。

II部は、「家族でおいしいコーヒータイムを過ごすには」をテーマに、4~5人1グループに分かれての座談会です。食事の準備や洗濯、掃除など“家の仕事”の項目が書かれた用紙に、誰が主に担当しているか記入後、グループ毎に意見交換。生活するうえで欠かせない家事は誰が担っているかふり回り、他の人の状況を聞いて感心したり共感する一幕も。最後に、家族でコーヒータイムを過ごすために、今日から何ができるかを発表してもらいました。パートナーのちょっとした声掛けや行動によって、美味しいコーヒーとともに会話が弾む時間ができたら素敵ですね。

受講生からは「コーヒーを飲み比べでき、楽しみながら受けられた。」「将来のこと、家庭内での仕事量を考える時間になった。」「他の方の家事分担の現状を知れてよかった。これをきっかけに“自立”できるように家事をしていきたい。」などの感想が寄せられました。

パープルリボンプロジェクト2018 in YAMAGATA

暴力のない社会の実現に向けて、11月12日から25日に内閣府で実施する「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせて、「パープルリボンプロジェクト2018 in YAMAGATA」を開催しました。パープルリボンプロジェクトとは、パープル(紫)色のリボンを身につけることで「暴力のない世界にしよう」という想いや、被害者への理解・支援を意思表示するものです。

遊学館1階と2階チェリア事務室において、DV防止をテーマとしたパネルやポスターの展示と、ひとつひとつ手作りしたパープルリボンブローチや、リーフレットの配布を行いました。



編集後記

今年のチェリアフェスティバルは講演会への参加でしたが、日本の男女の抱える問題に複雑な気持ちになりました。[西子]

男性に家の仕事について認識してもらおうと、家庭の中でお互いに気持ち良い暮らせるヒントになるかと感じました。[弘美]

今年から取材や編集に関わることになり、あらためて学びの重要性と伝えることの難しさに気がかかっています。[照子]

チェリアのHPにアクセスできます



山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (遊学館2階)
TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752
相談専用電話 023-629-8007
URL / https://yamagata-cheria.org/
窓口受付時間 / 午前9時~午後5時
休館日 / 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始
平成30年12月発行
編集発行 / (公財)山形県生涯学習文化財団



【アクセス】

- JR山形駅から
バス/市役所経由路線バスで
市役所前下車、徒歩5分
タクシー/約6分 徒歩/約25分
- 自動車
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。県営駐車場をご利用ください。
[入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出しください。]
[ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。]